

M-GTA研究会 第1回合同研究会

東京のM-GTA研究会の発足10周年、西日本M-GTA研究会の発足5周年、北海道M-GTA研究会発足後2年、そして九州M-GTA研究会の発足年にあたる今年の記念行事として、東京、東日本、西日本、北海道、九州などの各研究会で活動するメンバーが一堂に集まり、講演、修士論文発表会、合同ワークショップなどをおとして、M-GTAに関する学びを促進するとともに、地域を超えて会員の親交を深める目的で、第1回合同研究会を開催致します。

と き：2010年8月28日(土)・29日(日)

場 所：川崎医療福祉大学(岡山県倉敷市)

参加費：3,000円(交流会費:5,500円)

内容：下線は公開プログラム(非会員参加可)、ワークショップは会員限定プログラム

<8月28日>

12:00-13:00 受付

13:00-13:05 開会挨拶 水戸美津子(自治医科大学)

13:05-14:05 基調講演 「M-GTA:分析の要点」 木下康仁(立教大学)

14:15-16:15 第3回修士論文発表会 司会:山崎浩司(東京大学)

浜崎千賀(北原脳神経外科病院)

SV:小倉啓子(ヤマザキ学園大学)

「高次脳機能障害をもつ人の自立生活再獲得過程——関係論的自己決定の可能性をめぐって」

江口裕美(久留米大学病院)

SV:長崎和則(川崎医療福祉大学)

「気管切開管理を必要とする重症心身障害児を養育する母親が在宅での生活を作り上げていくプロセス」

関屋はんな(日本大学医学部精神医学系)

SV:納富史恵(久留米大学)

「先天性心疾患児をもつ母親におけるレジリエンスを介した心理的適応プロセス」

16:30-17:50 分析ワークショップ:セッション1(会員限定)

分析テーマの設定、ワークシートによる概念生成、など

※SV=スーパーヴァイザー、DP=データ提供者

1班 SV:水戸美津子(自治医科大学)・山野則子(大阪府立大学)

DP:小倉啓子(ヤマザキ学園大学)

2班 SV:横山登志子(札幌学院大学)・阿部正子(筑波大学)

DP:林葉子(お茶の水女子大学)

3班 SV:伊藤祐紀子(北海道医療大学)・山崎浩司(東京大学)

DP:真砂照美(広島国際大学)

4班 SV:坂本智代枝(大正大学)・納富史恵(久留米大学)

DP:隅谷理子(上智大学)

5班 SV:長崎和則(川崎医療福祉大学)・佐川佳南枝(立教大学)

DP:加藤千明(浜松医科大学)

6班 SV:都筑千景(大阪市立大学)・竹下浩(ベネッセ)

DP:塚原節子(岐阜大学)

18:00 終了・移動

18:45- 交流会 (倉敷アイビースクエア)

<8月29日>

09:30-11:50 分析ワークショップ:セッション2(会員限定)

概念間関係の吟味、カテゴリー生成、結果図とストーリーラインの作成、など

11:55-12:00 閉会挨拶 長崎和則(川崎医療福祉大学)

12:00 解散

※ 宿泊は各自で倉敷市内のホテルなどお手配ください。

※ 堅苦しい会ではありませんので、カジュアルな服装でお越しください。